

インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第27作成期 (2025年5月27日から2025年11月26日まで)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2032年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 Kインディア・インカム・ファンド（クラスG） 米ドル建て等のインドの債券等 コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA） インドルピー建ておよび米ドル建て等のインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つコタック・マヒンドラ・グループが行います。 ■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

第 157 期 / 第 158 期 / 第 159 期
決算日2025年6月26日 決算日2025年7月28日 決算日2025年8月26日

第 160 期 / 第 161 期 / 第 162 期
決算日2025年9月26日 決算日2025年10月27日 決算日2025年11月26日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行っています。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

インド債券ファンド（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決算期	(分配額)	基準価額		投資信託 証券組入率	純資産額
		税込分配金	期中騰落率		
133期(2023年6月26日)	円 4,541	円 25	% 3.9	% 96.3	百万円 24,139
134期(2023年7月26日)	4,481	25	△0.8	96.3	24,059
135期(2023年8月28日)	4,536	25	1.8	96.8	24,330
136期(2023年9月26日)	4,551	25	0.9	96.5	24,490
137期(2023年10月26日)	4,543	25	0.4	96.8	24,398
138期(2023年11月27日)	4,586	25	1.5	96.5	24,708
139期(2023年12月26日)	4,479	25	△1.8	96.7	24,218
140期(2024年1月26日)	4,630	25	3.9	97.4	24,898
141期(2024年2月26日)	4,718	25	2.4	96.6	25,312
142期(2024年3月26日)	4,710	25	0.4	95.1	25,183
143期(2024年4月26日)	4,791	25	2.3	97.0	25,508
144期(2024年5月27日)	4,881	25	2.4	95.7	25,857
145期(2024年6月26日)	4,959	25	2.1	96.7	26,239
146期(2024年7月26日)	4,751	25	△3.7	97.3	24,963
147期(2024年8月26日)	4,556	25	△3.6	97.1	23,950
148期(2024年9月26日)	4,538	25	0.2	97.8	23,337
149期(2024年10月28日)	4,713	25	4.4	96.9	23,938
150期(2024年11月26日)	4,724	25	0.8	96.6	23,795
151期(2024年12月26日)	4,729	25	0.6	96.8	23,425
152期(2025年1月27日)	4,625	25	△1.7	97.1	22,514
153期(2025年2月26日)	4,440	25	△3.5	96.7	21,152
154期(2025年3月26日)	4,538	25	2.8	97.2	21,547
155期(2025年4月28日)	4,380	25	△2.9	96.4	20,634
156期(2025年5月26日)	4,365	25	0.2	96.5	20,525
157期(2025年6月26日)	4,368	25	0.6	97.2	20,415
158期(2025年7月28日)	4,389	25	1.1	96.9	20,291
159期(2025年8月26日)	4,313	25	△1.2	95.2	19,751
160期(2025年9月26日)	4,325	25	0.9	97.5	19,514
161期(2025年10月27日)	4,493	25	4.5	96.5	20,061
162期(2025年11月26日)	4,508	25	0.9	96.6	19,826

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

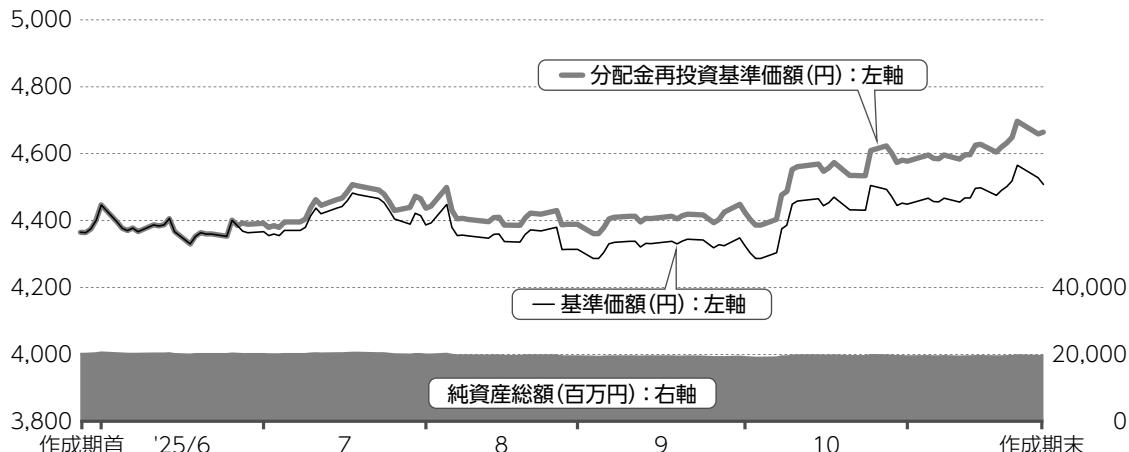
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比
			騰 落 率	
第157期	(期 首) 2025年5月26日	円 4, 365	% —	% 96. 5
	5月末	4, 447	1. 9	96. 6
	(期 末) 2025年6月26日	4, 393	0. 6	97. 2
第158期	(期 首) 2025年6月26日	4, 368	—	97. 2
	6月末	4, 367	△0. 0	97. 1
	(期 末) 2025年7月28日	4, 414	1. 1	96. 9
第159期	(期 首) 2025年7月28日	4, 389	—	96. 9
	7月末	4, 387	△0. 0	96. 9
	(期 末) 2025年8月26日	4, 338	△1. 2	95. 2
第160期	(期 首) 2025年8月26日	4, 313	—	95. 2
	8月末	4, 314	0. 0	95. 1
	(期 末) 2025年9月26日	4, 350	0. 9	97. 5
第161期	(期 首) 2025年9月26日	4, 325	—	97. 5
	9月末	4, 324	△0. 0	97. 4
	(期 末) 2025年10月27日	4, 518	4. 5	96. 5
第162期	(期 首) 2025年10月27日	4, 493	—	96. 5
	10月末	4, 449	△1. 0	96. 9
	(期 末) 2025年11月26日	4, 533	0. 9	96. 6

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年5月27日から2025年11月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,365円
作成期末	4,508円 (当作成期既払分配金150円(税引前))
騰落率	+6.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年5月27日から2025年11月26日まで)

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。

実質組入外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- インドの長期金利(10年国債利回り)が上昇したものの、債券の金利収入により、インドルピー建てインド債券市場が上昇したこと
- 米国の長期金利が低下したことやクレジットスプレッド(国債に対する上乗せ金利)の縮小により、米ドル建てインド債券市場が上昇したこと
- 日銀の追加利上げ観測が後退したことが円安要因となり、インドルピー/円相場が上昇したこと

投資環境について(2025年5月27日から2025年11月26日まで)

インドルピー建てインド債券市場と米ドル建てインド債券市場は上昇しました。為替市場では、インドルピーは円に対して上昇しました。

債券市場

インドルピー建てインド債券市場は小幅に上昇しました。CPI（消費者物価指数）上昇率は期中に大幅に低下し、RBI（インド準備銀行）は政策金利を引き下げました。一方、政策スタンスを「緩和的」から「中立」に変更したことなどから、インド国債利回りは上昇しましたが、債券の金利収入を得たことにより、インドルピー建てインド債券市場は小幅に上昇しました。

米ドル建てインド債券市場は上昇しました。米国債利回りは、期前半は概ね横ばいでの推移が続きましたが、8月以降は雇用統計が大幅に下方修正されたことを受け、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利下げの可能性を示唆したことなどから低下しました。クレジットスプレッドも関税交渉の進展による市場センチメント（心理）の改善や堅調な企業業績を背景に縮小し、米ドル建てインド債券市場は上昇しました。

為替市場

インドルピーは対円で上昇しました。

インドルピーは、米国での堅調な経済指標などを背景に、米ドルに対して下落しました。米ドル/円相場は、関税交渉の進展に加え、参議院選挙や自民党総裁選などの政治動向と財政に対する不透明感などを背景に円安基調で推移しました。米ドルに対してインドルピーは下落しましたが、円の下落度合いがより大きく、インドルピー/円相場は上昇しました。

インド債券ファンド（毎月分配型）

ポートフォリオについて（2025年5月27日から2025年11月26日まで）

当ファンド

「Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）」を高位に組み入れることにより運用を行い、組入比率（現金を除く）は50%/50%から60%/40%へと変更しました。

Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）

主に米ドル建てのインド社債に投資しました。

また、実質的にインドルピー建てとなるよう位替取引を行いました。デュレーション

（投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度）は中程度に維持する方針としました。

コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。

RBIは金利緩和策を継続すると見込まれることや海外投資家からのインドルピー建てインド国債への投資需要が利回りを押し下げるとみてデュレーションは長めを維持しました。ポートフォリオの構成は引き続き国債、国営企業債、社債を中心としました。

ベンチマークとの差異について（2025年5月27日から2025年11月26日まで）

ベンチマークおよび参考指標を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

分配金について(2025年5月27日から2025年11月26日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	(0.57%)	(0.57%)	(0.58%)	(0.57%)	(0.55%)	(0.55%)
当期の収益	23	23	22	23	25	23
当期の収益以外	1	1	2	1	—	1
翌期繰越分配対象額	566	565	562	561	561	560

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

② 今後の運用方針

当ファンド

「Kインディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド(クラスA)」の高位組み入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。資産配分に関しては、デュレーションが中程度の米ドル建て債券ファンドに60%、デュレーションが長めのインドルピー建て債券ファンドに40%を配分しており、ファンドの信用リスクは引き続き抑制水準を維持する方針です。

Kインディア・インカム・ファンド(クラスG)

米国では、F R B(米連邦準備制度理事会)は年内あと1回の利下げを行うと想定します。米景気の腰折れは回避されてインフレ懸念が根強く残るとみられることから、長期金利は短期的には横ばい、中期的には上昇の展開を予想します。このような見通しの下、デュレーションについては中程度に維持する方針です。

コタック・フレキシー・デット・ファンド
(クラスA)

RBIは金利緩和策を継続すると見込まれ

ることに加え、海外投資家からのインド債券への継続的な資金流入も期待されることから、インドルピー建て債券ファンドは長めのデュレーションを維持する方針です。

③ お知らせ

約款変更について

- 信託期間の延長に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。 (適用日：2025年8月22日)

インド債券ファンド（毎月分配型）

1万口当たりの費用明細(2025年5月27日から2025年11月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	24円	0.550%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は4,395円です。
(投信会社)	(7)	(0.148)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(17)	(0.386)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファン
(受託会社)	(1)	(0.016)	ドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図
(b) 売買委託手数料	—	—	の実行等の対価 売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(—)	(—)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う
(先物・オプション)	(—)	(—)	手数料
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(—)	(—)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する
(公社債)	(—)	(—)	税金
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.001	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(—)	(—)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管お
(監査費用)	(0)	(0.001)	よび資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(—)	(—)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
合計	24	0.552	その他の費用

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

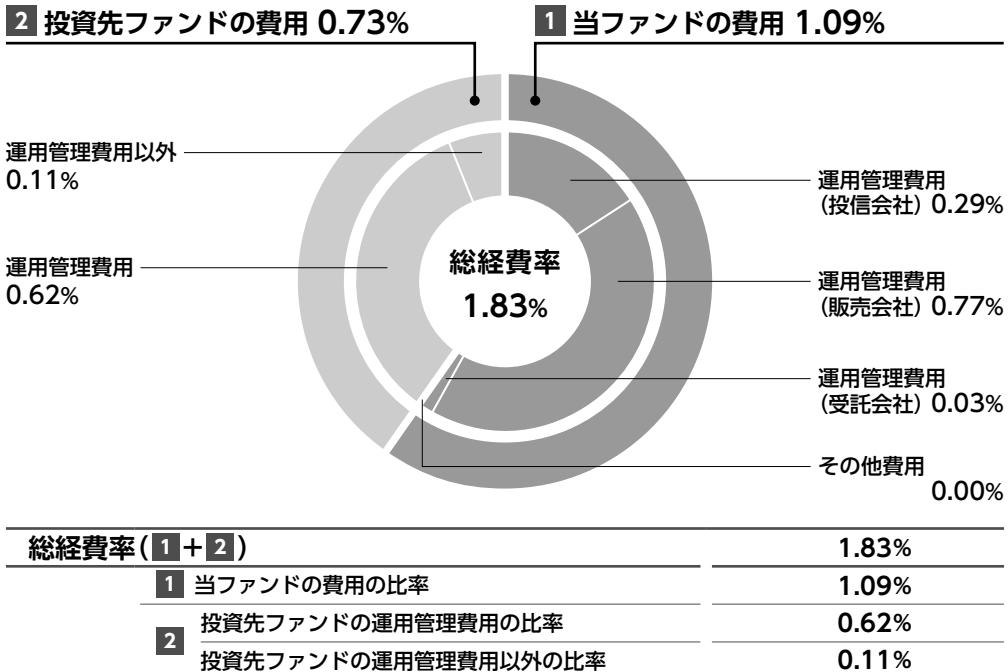
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



※ ①の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ ②の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ ①と②の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当形成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.83%です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2025年5月27日から2025年11月26日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）	口	千円	口	千円
	コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）	1,845,979	2,367,000	761,697	981,000
		5,709	124,000	131,317	2,903,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建での外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等(2025年5月27日から2025年11月26日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年5月27日から2025年11月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2025年11月26日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首		作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）	口	口	千円	%
Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）	7,724,499.244	8,808,781.372	11,518,243	58.1
コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）	461,542.535	335,934.021	7,627,958	38.5
合 計	8,186,041.779	9,144,715.393	19,146,202	96.6

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 投資信託財産の構成

(2025年11月26日現在)

項 目	作成期末	
	評価額	比率
投 資 証 券	千円 19,146,202	% 95.7
コ ー ル・ロ ー ン 等、そ の 他	864,159	4.3
投 資 信 託 財 産 総 額	20,010,362	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年6月26日) (2025年7月28日) (2025年8月26日) (2025年9月26日) (2025年10月27日) (2025年11月26日)

項 目	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末	第162期末
(A) 資 産	20,620,400,760円	20,521,158,138円	19,948,435,346円	19,764,112,997円	20,254,162,932円	20,010,362,215円
コ ー ル・ロ ー ン 等	776,988,437	866,657,389	841,407,857	737,671,756	901,941,500	864,159,733
投 資 証 券 (評価額)	19,843,412,323	19,654,500,749	18,799,027,489	19,026,441,241	19,352,221,432	19,146,202,482
未 収 入 金	—	—	308,000,000	—	—	—
(B) 負 債	204,831,483	229,960,291	197,409,212	249,749,631	192,600,208	184,200,349
未 払 収 益 分 配 金	116,857,620	115,577,047	114,492,570	112,807,228	111,619,141	109,947,051
未 払 解 約 金	68,681,904	94,472,624	65,254,611	118,444,888	62,408,727	56,226,977
未 払 信 託 報 酬	19,205,548	19,821,439	17,582,921	18,414,667	18,489,153	17,945,583
そ の 他 未 払 費 用	86,411	89,181	79,110	82,848	83,187	80,738
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	20,415,569,277	20,291,197,847	19,751,026,134	19,514,363,366	20,061,562,724	19,826,161,866
元 本	46,743,048,116	46,230,819,103	45,797,028,277	45,122,891,408	44,647,656,538	43,978,820,597
次 期 繰 越 損 益 金	△26,327,478,839	△25,939,621,256	△26,046,002,143	△25,608,528,042	△24,586,093,814	△24,152,658,731
(D) 受 益 権 総 口 数	46,743,048,116口	46,230,819,103口	45,797,028,277口	45,122,891,408口	44,647,656,538口	43,978,820,597口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,368円	4,389円	4,313円	4,325円	4,493円	4,508円

※当作成期における作成期首元本額47,026,053,873円、作成期中追加設定元本額609,065,593円、作成期中一部解約元本額3,656,298,869円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 損益の状況

〔自2025年5月27日〕〔自2025年6月27日〕〔自2025年7月29日〕〔自2025年8月27日〕〔自2025年9月27日〕〔自2025年10月28日〕
 〔至2025年6月26日〕〔至2025年7月28日〕〔至2025年8月26日〕〔至2025年9月26日〕〔至2025年10月27日〕〔至2025年11月26日〕

項目	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
(A) 配当等収益	123,493,650円	120,775,247円	119,069,570円	117,664,369円	115,646,308円	114,504,282円
受取配当金	123,227,587	120,533,872	118,849,714	117,383,437	115,421,886	114,255,813
受取利息	266,063	241,375	219,856	280,932	224,422	248,469
(B) 有価証券売買損益	26,623,946	113,933,228	△ 336,771,779	67,711,166	767,124,880	78,509,717
売買益	115,045,242	126,337,262	2,552,918	95,669,973	771,910,945	78,775,828
売買損	△ 88,421,296	△ 12,404,034	△ 339,324,697	△ 27,958,807	△ 4,786,065	△ 266,111
(C) 信託報酬等	△ 19,291,959	△ 19,910,620	△ 17,662,031	△ 18,497,515	△ 18,572,340	△ 18,026,321
(D) 当期損益金 (A+B+C)	130,825,637	214,797,855	△ 235,364,240	166,878,020	864,198,848	174,987,678
(E) 前期継越損益金	△ 7,279,189,090	△ 7,170,022,091	△ 6,998,356,785	△ 7,202,768,127	△ 7,053,037,531	△ 6,189,247,702
(F) 追加信託差損益金	△19,062,257,766	△18,868,819,973	△18,707,788,548	△18,459,830,707	△18,285,635,990	△18,028,451,656
(配当等相当額)	(2,642,762,153)	(2,613,838,672)	(2,589,319,427)	(2,538,668,102)	(2,505,133,441)	(2,467,708,175)
(売買損益相当額)	(△21,705,019,919)	(△21,482,658,645)	(△21,297,107,975)	(△20,998,498,809)	(△20,790,769,431)	(△20,496,159,831)
(G) 合計 (D + E + F)	△26,210,621,219	△25,824,044,209	△25,931,509,573	△25,495,720,814	△24,474,474,673	△24,042,711,680
(H) 収益分配金	△ 116,857,620	△ 115,577,047	△ 114,492,570	△ 112,807,228	△ 111,619,141	△ 109,947,051
次期継越損益金 (G+H)	△26,327,478,839	△25,939,621,256	△26,046,002,143	△25,608,528,042	△24,586,093,814	△24,152,658,731
追加信託差損益金	△19,062,257,766	△18,868,819,973	△18,720,528,085	△18,466,713,939	△18,285,635,990	△18,033,021,589
(配当等相当額)	(2,642,762,153)	(2,613,838,672)	(2,576,579,890)	(2,531,784,870)	(2,505,133,441)	(2,463,138,242)
(売買損益相当額)	(△21,705,019,919)	(△21,482,658,645)	(△21,297,107,975)	(△20,998,498,809)	(△20,790,769,431)	(△20,496,159,831)
分配準備積立金	5,469,038	349,570	-	-	1,594,190	-
継越損益金	△ 7,270,690,111	△ 7,071,150,853	△ 7,325,474,058	△ 7,141,814,103	△ 6,302,052,014	△ 6,119,637,142

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした仮額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
(a) 経費控除後の配当等収益	107,624,085円	110,529,242円	101,407,539円	105,923,996円	113,213,331円	103,811,068円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,642,762,153	2,613,838,672	2,589,319,427	2,538,668,102	2,505,133,441	2,467,708,175
(d) 分配準備積立金	14,702,573	5,397,375	345,494	0	0	1,566,050
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,765,088,811	2,729,765,289	2,691,072,460	2,644,592,098	2,618,346,772	2,573,085,293
1万口当たり当期分配対象額	591.55	590.46	587.61	586.09	586.45	585.07
(f) 分配金	116,857,620	115,577,047	114,492,570	112,807,228	111,619,141	109,947,051
1万口当たり分配金	25	25	25	25	25	25

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none">・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・有価証券の空売りは行いません。・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。・非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	純資産総額に対して年0.64%程度* ＊上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）」をシェアクラスとして含む「Kインディア・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■包括利益計算書(2024年9月30日に終了した期間)

(単位：米ドル)

投資収益	
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る受取利息	5,036,605
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純損益	8,547,689
デリバティブに係る未実現純損益	630,999
投資収益合計	<u>14,215,293</u>
費用	
管理事務代行報酬	30,800
運用報酬	721,287
保管報酬	18,186
専門家報酬	52,618
その他費用	17,306
監査報酬	17,000
規制関連報酬	5,950
為替に係る純損失	48,760
費用合計	<u>911,907</u>
金融費用控除前投資純損益	
金融費用	<u>13,303,386</u>
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	11,904,419
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	<u>1,398,967</u>

■組入上位銘柄

(基準日：2024年9月30日)

	銘柄名	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1	Indian Railway Finance 3.249% 13/02/2030	USD	3.249%	2030/02/13	12.4%
2	Ultratech Cement 2.80% 16/02/2031	USD	2.800%	2031/02/16	9.7%
3	TML Holdings PTE LTD 4.35% 09/06/2026	USD	4.350%	2026/06/09	9.2%
4	Rural Electrification Corporation 5.625% 11/04/2028	USD	5.625%	2028/04/11	7.2%
5	Adani Ports & Special Economic Zone Ltd. 4.00% 30/07/2027	USD	4.000%	2027/07/30	7.1%
6	EXIM Bank 5.50% 18/01/2033	USD	5.500%	2033/01/18	6.8%
7	Perima Holdings LLC 5.95% 19/04/2026	USD	5.950%	2026/04/19	5.9%
8	Canara Bank 4.896% 11/09/2029	USD	4.896%	2029/09/11	5.3%
9	Power Finance Corporation 3.95% 23/04/2030	USD	3.950%	2030/04/23	4.7%
10	Shriram Finance Limited 6.625% 22/04/2027	USD	6.625%	2027/04/22	4.4%
全銘柄数				20銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシー・デット・ファンド（クラスA）」をシェアクラスとして含む「コタック・フレキシー・デット・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書(2025年3月31日に終了した期間)

(単位：米ドル)

投資収益

利息収入	4,044,933
損益を通じて公正価値で測定される金融資産にかかる純損益	(463,262)
為替にかかる未実現純損益	(124,380)
	<hr/>
	3,457,291

費用

投資運用報酬及び保管報酬	332,303
弁護士報酬	3,500
その他の営業費用	23,435
管理事務代行報酬	20,000
監査報酬	15,000
専門家報酬	24,398
規制関連報酬	8,360
	<hr/>
営業費用合計	426,996
	<hr/>
税引前償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増減額	3,030,295
所得税控除	(339,589)
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増減額	<hr/>
	2,690,706

■ 組入上位銘柄

銘柄名

1	7.25% GOI 12/06/2063
2	7.34% GOI 22/04/2064
3	5.77% GOI 03/08/2030
4	7.18% GOI 24/07/2037
5	7.25% INDIAN OIL LTD 06/01/2030
6	7.30% GOI 19/06/2053
7	7.26% GOI 06/02/2033
8	7.75% HDFC Bank (earlier Housing Development Finance Corporation Limited) (SR US006) 13/06/2033
9	7.59% THDC India Limited 03/10/2026
10	9.46% Power Finance Corporation Limited (SR 76 B) 01/08/2026

全銘柄数

(基準日：2025年3月31日)

通貨	利率	償還日	組入比率
INR	7.25%	2063/6/12	25.3%
INR	7.34%	2064/4/22	19.8%
INR	5.77%	2030/8/3	19.3%
INR	7.18%	2037/7/24	13.0%
INR	7.25%	2030/1/6	8.5%
INR	7.30%	2053/6/19	4.4%
INR	7.26%	2033/2/6	3.5%
INR	7.75%	2033/6/13	2.7%
INR	7.59%	2026/10/3	2.6%
INR	9.46%	2026/8/1	0.2%

11銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。